

神明はやし連中

神楽・祭囃子を
正しく楽しく次世代に！！！！



神明はやし連中とは

- 越谷市神明地区の人たちによって継承されてきた
- はじめた時代や導入経路は不明
- 神明地区に住む伊東家・宇田川家・鈴木家・高橋家を中心に四代にわたって継承されていたので江戸末期から明治初年には、はじめられていたのではないかと推測
- 現在、神明地区の人は一人もおらず、会員の住まいも市内各地、千葉県野田市と広範囲にわたる
- 里神楽、祭囃子を継承している
- 市内を中心に依頼を受けて各地の神社の祭礼で奉納している
- 越谷市郷土芸能保存協会に加盟



山車や街道沿いに設けられた掛屋台
をはじめ神社の神楽殿や拝殿、お神
輿と一緒に歩きながら演奏する底抜
け屋台など様々な形態で演奏、奉納
をして祭りを盛り上げます。

お囃子の演奏・奉納する場所

神楽の奉納の様子

越ヶ谷久伊豆神社で年四回
大沢香取神社で年二回
その他市内はもちろん千葉県や茨城県
神社祭礼にて奉納しています。



今まで行ってきた育成活動

- 越谷市郷土芸能保存協会の郷土芸能体験教室（毎年7月～8月）
- 市のHPで越谷市郷土芸能保存協会の宣伝、チラシの配布
- 荻島小学校おはやしクラブへの指導



**さまざまな活動を行ったなかで
新たな人材はほとんど育っていない**

需要があるのに後継者がいないのが現状

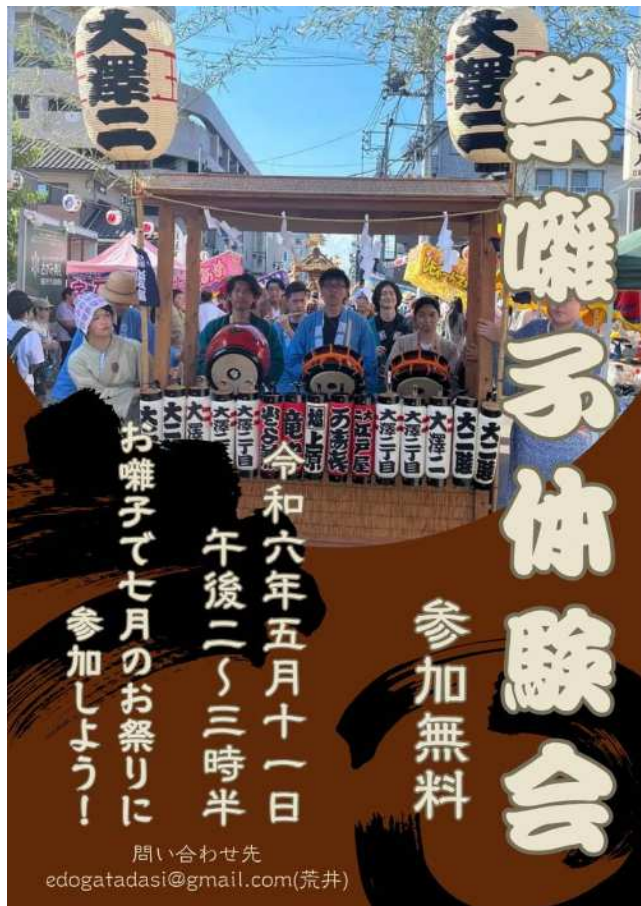


- 職業的要素が強い
- お囃子、神楽両方の習得が必要
- 神明はやし連中に所属して活動するにはある程度の下積みが必要



お囃子や神楽の存在が広く知られていない中
新たな人材を探すのは**不可能**

とりあえず楽しさを伝えることが一番！！



- 仲間の支えで個人的に布教活動を実施
- 地元、大沢二丁目有志や普段手伝いに来ている仲間の力を借りて祭囃子体験会を開催
- 大沢八坂神社祭礼での演奏を目標に仲間を集めた
- 体験講座を行うにあたっては地元の小学校全校生徒にチラシを配布
- SNSにて宣伝
- 当日は老若男女40名ほど集まった

体験会后、、、

- 8人ほどで七月の祭礼に向けて練習を行った
- 参加条件を設けた
「本人の意思で参加する事」
- 人数は少ないがみんな熱心に取り組んだ



いよいよ本番！



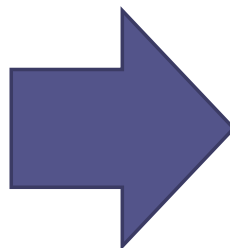
祭り期間中

来年に向けた参加者募集の声かけをしたら・・・

参加者が倍以上に！



祭礼前



祭礼後

後継者を増やすために必要なこと

- 練習をはじめたら具体的な目標をきめる
- 本番の楽しい雰囲気を少しでも早く感じてもらう
- 仲間との雰囲気づくりや練習の進めるペースは十分気を付ける
- 正しく楽しく教えること
- 参加者は本人の意思で来ること

今後の目標

- 出来る曲、楽器を徐々に増やしていく
- 個々のペースに合わせて最大限伸ばしていく
- お囃子だけでなく神楽も教えていきたい
- 十年後には応援なしで演奏出来るようにする